

議会だより

みなみふらの



南富良野町立保育所運動会（令和8年6月20日）
この写真の説明は最終ページをご覧ください。

第2回定例会概要	P2～P3
町政・教育行政執行方針質疑	P4～P10
第2回臨時会概要	P10
委員会レポート	P11
議会の動き	P12



令和8年
第2回定例会
6月11日～19日

町政執行方針
教育行政執行方針に
全議員が質疑

令和8年第2回町議会定例会は、6月11日に招集され、会期を11日から19日までの9日間と決めた後、行政報告、教育行政報告、各委員会報告があり、その後、繰越明許費繰越計算書及び株式会社南富良野町振興公社の経営状況についての報告を受けました。引き続き、町長・教育長から令和8年度町政執行方針及び教育行政執行方針がそれぞれ述べられ、1日目を終了しました。

第7日目の6月17日は、町政執行方針及び教育行政執行方針に対し7議員から質疑が行われ、町長及び教育長から答弁がありました。その後、令和8年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算1件、公営企業会計補正予算2件、辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定についての件、計5件について総務常任委員会に付託され、終了しました。

最終日の6月19日は、総務常任委員会に付託された令和8年度一般会計補正予算等5件について、委員長から「原案を可とする」報告がなされた後、報告のとおり可決し、報告のとおり可決した後、農業委員会委員の任命10件、人権擁護委員候補者の推薦について1件、議員提出による意見書案1件について審議の結果、原案のとおり可決。同意、諮問については適任とし、全ての日程を終え、定例会を終了しました。

議案の賛否一覧表

上程議案		結果	議							
			副							
			1 番 十 河	2 番 鷹 嘴	4 番 古 橋	5 番 洪 谷	6 番 曾 慶	7 番 大 西	8 番 酒 井	
			(賛成:○ 反対:× 欠席:欠 除斥:除) ■:議事進行により議決に加わらない「-」							
議案第1号	令和8年度南富良野町一般会計補正予算	可決(6/19)	○	○	×	○	○	○	—	
議案第2号	令和8年度南富良野町立診療所事業特別会計補正予算	可決(6/19)	○	○	×	○	○	○	—	
議案第3号	令和8年度南富良野町簡易水道事業会計補正予算	可決(6/19)	○	○	×	○	○	○	—	
議案第4号	令和8年度南富良野町公共下水道事業会計補正予算	可決(6/19)	○	○	×	○	○	○	—	
議案第5号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	可決(6/19)	○	○	○	○	○	○	—	
議案第6号	農業委員会委員の任命について	同意(6/19)	○	○	○	○	○	○	—	
議案第7号	農業委員会委員の任命について	同意(6/19)	○	○	○	○	○	○	—	
議案第8号	農業委員会委員の任命について	同意(6/19)	○	○	○	○	○	○	—	
議案第9号	農業委員会委員の任命について	同意(6/19)	○	○	○	○	○	○	—	
議案第10号	農業委員会委員の任命について	同意(6/19)	○	○	○	○	○	○	—	
議案第11号	農業委員会委員の任命について	同意(6/19)	○	○	○	○	○	○	—	
議案第12号	農業委員会委員の任命について	同意(6/19)	○	○	○	○	○	○	—	
議案第13号	農業委員会委員の任命について	同意(6/19)	○	○	○	○	○	○	—	
議案第14号	農業委員会委員の任命について	同意(6/19)	○	○	○	○	○	○	—	
議案第15号	農業委員会委員の任命について	同意(6/19)	○	○	○	○	○	○	—	
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任(6/19)	○	○	○	○	○	○	—	

議：議長・副：副議長

補正予算の主なもの

■一般会計

- ・防災行政無線整備工事 15102万円
- ・太平橋架替工事に伴う支障光通信ケーブル移設工事 2696万円
- ・道の駅駐車場改良工事 9770万円
- ・道の駅公園改修工事 1690万円
- ・湖畔キャンプ場トイレ改修工事 1221万円
- ・医療機器等導入支援助成金 282万円
- ・保育業務支援システム経費 211万円
- ・中山間地域等直接支払交付金 1851万円
- ・多面的機能支援交付金 3654万円
- ・町有林整備委託料 4673万円
- ・南富良野町管内橋梁点検委託料 4178万円

- ・幾寅西1号線外1道路改良調査設計委託料 2186万円

- ・幾寅工業団地線道路改良工事 9138万円

- ・幾寅東2丁目線道路改良工事 5430万円

- ・幾寅鹿越線舗装改良工事 4951万円

- ・公営住宅幾寅東団地改修工事 7196万円

- ・町立診療所事業特別会計 町立幾寅診療所屋根防水改修工事 1260万円

- ・簡易水道事業会計 幾寅地区簡易水道機械計装設備工事 4800万円

- ・公共下水道事業会計 南富良野浄化センター機械電機設備更新事業委託料 6500万円

- ・N.O.7マンホールポンプ所外更新工事 5500万円

令和8年度各会計補正予算	補正額	補正後
一般会計	8億6,328万円	47億7,930万円
国民健康保険事業特別会計	0万円	2億9,292万円
後期高齢者医療事業特別会計	0万円	6,342万円
介護保険特別会計	0万円	2億9,946万円
町立診療所事業特別会計	1,260万円	1億802万円
簡易水道事業会計	4,800万円	3億322万円
公共下水道事業会計	1億2,000万円	3億3,754万円
総計	10億4,388万円	61億8,388万円

その他

■辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
前計画期間の終了に伴い、辺地計画を策定するものです。
計画期間…令和8年度から令和12年度

人事案件

■農業委員会委員の任命

町長が任命するにあたり、議会の同意を求める議案が提出され、起立採決の結果、全員の賛成により同意することに決定しました。

- ・下金山地区 武田 伸一氏
- ・下金山地区 金 哲也氏
- ・下金山地区 畠山 茂実氏
- ・金山地区 鹿野 博史氏
- ・幾寅地区 直原 英純氏
- ・幾寅地区 新田 康男氏
- ・幾寅地区 黒田 和市氏
- ・幾寅地区 大光明 敦子氏
- ・北落合地区 大竹 秀明氏
- ・北落合地区 久保田 裕輝氏

地方自治法第99号の規定により次の意見書が提出され、可決されました。
「ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書」
本道の森林を将来の世代に引き継ぎ、環境への負荷の少ない循環型社会を形成する目標に向け、活力ある森林づくりや道産木材の利用、防災・減災対策を一層進めるため、ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を図れるよう求める。

意見書について

閉会中の継続調査

総務常任委員会では、次の件について閉会中の継続調査をすることとしました。
・商工振興について（商工会役員等との意見交換）

■人権擁護委員候補者の推薦

幾寅 米木 厚子氏を人権擁護委員候補者として推薦することについて、町長から諮問があり、適任と認め答申することに決定しました。

※議決された意見書は、議長名でそれぞれの関係機関に提出しています。

7議員 町政・教育行政執行方針に質問

質問議員	答弁者	分野	質問事項	頁
大西知幸議員	町長	農業・地域振興	下金山農作物直売所をメインとする賑わい創出の施設について	4
		観光業	リゾート開発計画について	4・5
		林業	「J-クレジット」を登録したことについて	5
		商工鉱業	「ホクレンショップ南ふらの店」について	5
渋谷浩岐議員	町長	農業・地域振興	下金山にぎわい拠点整備事業について	5・6
		農業	農業振興について	6
		地域振興	ふるさと納税について	6
鷹嘴充子議員	町長	観光業	リゾート開発計画について	6
		行政運営	熱中症対策について	6
		地域振興	地域おこし協力隊の方々の定着について	6・7
古橋国久議員	町長	農業・地域振興	下金山にぎわい拠点整備事業について	7
		観光業	観光振興ビジョンについて	7
		観光業	道の駅について	7
十河総子議員	町長	農業・地域振興	下金山にぎわい拠点整備事業について	7・8
		地域振興	移住・定住の促進について	8
		環境衛生	環境問題について	8
		住環境	公営住宅等長寿命化計画について	8
曾慶一介議員	町長	高齢者福祉	高齢者福祉施設及び施策のあり方について	8・9
酒井年夫議員	町長	高齢者福祉	特別養護老人ホーム一味園の改築について	9
		観光業	観光振興について	9・10
	教育長	学校教育	本町の児童、生徒の学力について	10
		社会教育	歴史、文化、芸術について	10

大西 中東情勢の影響で建設資材の調達が難しいと報じられているが、補正予算後の入札で工期内に完成できるのか、工事への影響はないのか伺う。

町長 下金山農産物直売所を中心としたにぎわい創出施設は、建設資材不足や価格高騰を受け、施設規模を見直してコスト削減を図るため、実施設計を再検討している。新施設は直売所に加え、フードコートや観光案内、通年営業の店舗、農産物加工機能などを備える計画である。

下金山農作物直売所をメインとする賑わい創出の施設について



YouTube 動画配信
6月17日 13:55～

執行方針に対する質疑（要旨）
おおにし ともゆき
大西 知幸
議員

You Tube 動画配信：執行方針質疑の配信時間を表示しています。

大西 インドネシア企業グループから打診があった長期滞在型リゾート開発計画の内容について詳細な説明を伺う。

町長 昨年にインドネシア企業グループから四季を通じて、地域の期待に応える施設となるよう整備を進めたい。

リゾート開発計画について

町長 資材不足や事業費の課題を踏まえ、地元や業界と連携しながら慎重に進めていく。また、コスト削減を図りつつ、地域の期待に応える施設となるよう整備を進めたい。

大西 建設資材の不足や価格高騰により、多くの建設業者が資材調達に不安を抱えており、入札不調も発生している。下金山農産物直売所の整備についても、状況を的確に見極めながら適正に事業を進めるようお願いする。

工期は年度内完成を目指す。状況によっては繰越事業として翌年度まで延長する可能性はあるが、確実に整備を進めたい考えである。

た長期滞在型リゾート開発の提案を受けた。同社は南富良野の自然や湖、スキー場などを高く評価しており、地域と環境に配慮した持続可能なリゾートを目指している。

今年4月には、計画の実現可能性を共同で検討するための条件付き意向表明書（LOI）を締結し、現在は具体的な内容を検討する段階である。

スキー場リフト更新の課題解決や地域活性化への期待がある一方、町民理解や環境への配慮を重視し、開発ありきではなく慎重に検討を進める。

大西 リゾート開発計画について、インドネシア企業グループの事業内容や海外・国内での実績、企業の実態について説明を求める。また、スキー場の運営が委託なのか譲渡なのかを確認したい。

外国企業の撤退リスクや過去のリゾート開発計画の事例を踏まえ、慎重な検討を求める。

町長 リゾート開発を検討している企業グループは「BVR GROUP ASIA」で、バリやジャカルタなどに拠点をもち、不動産開発やライフス

タイル関連事業を展開している。海外での開発経験はあるものの、日本国内での事業実績はなく、今後は信頼関係を築きながら慎重に検討を進める必要があると認識している。

「Jークレジット」を登録したことについて

大西 町と北海道ガス株式会社との包括協定に基づき、森林による二酸化炭素吸収量を

登録し、今後は認証手続きを進めるとしている。制度の内容や町への効果について、分かりやすい説明を求める。

町長 町有林の整備により森林が吸収する二酸化炭素量を国に認証してもらい、クレジットとして販売する制度である。北海道ガスとの連携により約890ヘクタールを対象とし、約6000トンの吸収量を見込む。販売収入は町有林整備に活用する考えである。

大西 町有林の二酸化炭素吸収量を国が認める環境価値として企業に売却し、その収益を森林整備に活用できる制度である。

町有林を収入源として生かせる利点があり、環境保全と財源確保の両面から、積極的に進めるべきである。

町長 本町はカーボンニュートラルを宣言しており、温暖化対策は重要な課題である。

森林の二酸化炭素吸収量を活用するJークレジット制度を通じて、環境保全と森林整備を進めていく。

「ホクレンショップ南ふらの店」について

大西 公設民営となったホクレンショップ南ふらの店の購買状況の変化と2階フロアを

活用したまち中の賑わいづくりの現状について伺う。

町長 ホクレンショップ南ふらの店は、公設民営化後の売上が前年同期比33%増、来店客数も26%増と好調で、町民に加え工事関係者や技能実習生などの利用増が要因となっている。町は今後も地元消費を促進し、営業継続を支援していく。

また、JA移転後に空く2階フロアについては、町民アンケートを参考に、憩いの場

やコワーキングスペース、貸し事務所などの活用案を検討し、まち中の賑わいづくりにつなげる利活用を進める方針である。

大西 店の売上や利用状況の向上を評価する。2階フロアの活用については、全天候型

の子どもの遊び場や郷土資料室の整備を提案する。他地域の事例を参考に、集客や収益につなげる検討を求める。

町長 2階フロアの活用について、子どもの遊び場や郷土資料室などの提案を受け止めた。今後、まち中賑わいづくりに向け、議会や町民からの意見を踏まえながら検討を進めていく。

執行方針に対する質疑（要旨）

しぶや 浩岐
大谷 浩岐

議員



YouTube 動画配信
6月17日 43:00 ~

下金山にぎわい拠点整備事業について

渋谷 本事業は、農産物直売所の増改築を契機に、関係者との協議を重ね、新設する方向で計画・設計が進められてきた。

また、地元農産物や特産品の販売、観光PR、地域農業者の会議の場等、地域の多面的な役割を担っている。資材価格や建築費の高騰は理解するが、事業の見直しの有無と今後のスケジュールについて

伺う。

町長 下金山にぎわい拠点整備事業については、資材不足や建築費高騰を踏まえ、計画を見直した上で適切な時期に事業を進める。

また、地域活性化に果たす役割は大きく、地域と協議しながら事業を進める方針であり、スケジュールの明言は避けるが、実現に向けて取り組んでいく考えである。

渋谷 社会情勢を踏まえ、慎重かつ適切な判断のもとで事業を進めるようお願いする。

農業振興について

渋谷 地域ごとに農業者との意見交換が行われているが、農業を取り巻く環境は依然として厳しく、町全体の課題解決には至っていないと考える。今後4年間、どのように農業振興を進めていくのか町長の考えを伺う。

町長 農業の持続には、安定して稼げる経営づくりが重要であり、国の制度を活用しながら、町独自の支援も行い、担い手確保や農地集約、スマート農業、有害鳥獣対策などを

進める。また、地域ごとの課題を把握し、農業者や関係機関と連携して振興策に取り組む。

渋谷 農業を取り巻く課題は本町だけの問題ではなく、解決は容易ではない。町、農協、農業委員会、農業者など関係者が課題を共有し、町全体で解決に向けた道筋を検討する場づくりを提案する。

ふるさと納税について

渋谷 地域資源を活用した新商品や特産品の開発・改良を支援し、返礼品の充実を図るとしているが、組織の立ち上げなど、具体的な推進体制や取組について伺う。

町長 新たな組織を設けるのではなく、事業者の商品開発や改良、パッケージ変更などへの助成を通じて返礼品の充実を図る考えである。

地域産品の開発を支援し、ふるさと納税の拡充と地域産品の振興につなげていきたい。
渋谷 返礼品が限られる中でも、ふるさと納税の充実は重要である。

事業者の新商品開発や改良

への負担を軽減し、道の駅や物産センター、返礼品として選ばれる特産品の拡充を期待する。

執行方針に対する
質疑（要旨）
たかのはし あつこ
鷹嘴 充子
議員



リゾート開発計画について

鷹嘴 本町でのリゾート開発計画の協議を進めるに当たり、町民の意見を取り入れる体制づくりについての考えを伺う。

町長 リゾート開発計画は、現段階では具体的な計画段階には至っていないが、今後、計画を描いていく過程で、議

会や関係地域、町民との意見交換を行い、合意形成を図りながら進めていく考えである。

鷹嘴 リゾート開発計画は、町民の理解と協力が不可欠であることから、パブリックコメントや有識者会議などを活用し、町民の意見を反映した協議を進めるよう求める。また、議会への情報共有や報告を適切に行うよう要望する。

熱中症対策について

鷹嘴 役場庁舎への冷房設備の整備が進んでいない状況を踏まえ、今後の庁舎内における熱中症対策についての考えを伺う。

町長 役場庁舎の熱中症対策については、2階事務室や会議室などにエアコンを設置しているが、1階への整備には大規模な設備改修と多額の費用が必要であることから、今後、財源や優先度を検討しながら対応していく。

また、各地区のクーリングルームの活用について周知を進める。

鷹嘴 役場庁舎が災害時の拠点や町民が利用する施設であ

ることを踏まえ、予算や構造上の課題はあるものの、スポットクーラーの増設など早急な対策を講じるよう要望する。

地域おこし協力隊の方々の
定着について

鷹嘴 町長の執行方針で地域おこし協力隊が度々取り上げられている。制度開始以降、本町で活動した隊員の累計人数や、任期終了後に移住・定着した人数を町として把握しているのか伺う。

また、本町を活動地に選んだ理由、定着を決めた理由、定着に至らなかった理由についても把握しているのか、町長の見解を伺う。

町長 本町では平成26年9月から地域おこし協力隊を受け入れ、これまで19名が着任した。現在は9名が活動しており、任期終了後に定着した方は4名、転出した方は6名である。

応募理由は北海道での生活への憧れや業務内容への関心が多く、定着理由は本町での生活が合ったこと、転出理由は地域になじめなかったこと



YouTube 動画配信
6月17日:17:15~

執行方針に対する質疑(要旨)

ふるはし くにひさ
古橋 国久
議員

議会中継はこちら
から確認できます。
(YouTube動画配信)



や家庭事情などである。
鷹嘴 地域おこし協力隊の定着には、任期満了後の実情把握と、それに応じた支援策が必要である。
併せて、本町で活動したいと思ってもらえる受入れ体制の充実も重要であり、関係機関と連携した取組を求める。

下金山にぎわい拠点整備事業について

古橋 地域活性化や観光振興が期待される一方、初期投資や維持管理費による財政負担も懸念されることから、収支計画や事業運営のシミュレーション、閑散期における利用促進や売上確保の具体策について伺う。

町長 下金山にぎわい拠点施設は、町が設置するが、作楽や出店者がそれぞれ収支を整え、町は共通経費など必要な部分を負担する考えであり、大きな財政負担は想定していない。具体的な収支計画は改めて示す。作楽は販売手数料などで収支を保ち、近年は売上も伸びている。今後は冬期営業や飲食店との相乗効果により、地域のにぎわいと活性化につなげていきたい。

古橋 持続的な運営に向けた収支計画、閑散期対策が重要であり、出店者に対して冬期間の営業継続を含めた事業計画づくりを商工会などとも連携しながら進めるようお願いする。

観光振興ビジョンについて

古橋 観光振興や受入れ環境整備には、継続的な財源確保が必要であることから、受益者負担の観点も踏まえ、法定外目的税である宿泊税の導入を検討する考えがあるのか。

町長 宿泊税については、観光振興の財源確保として有効性を認める一方、二重課税への懸念や町内事業者への影響もあることから、観光協会や関係者の意見を聞きながら今後検討していくが、現時点では導入は時期尚早と認識している。

古橋 宿泊税については、将来的な観光客増加を見据え、導入に向けた準備や検討を進める必要性を感じている。近隣自治体の事例なども参考にしながら、今後の観光振興の財源として検討をお願いする。

道の駅について

古橋 本町の玄関口である道の駅フードコート内に空き店舗がある状況について、施設のイメージや経済的影響を踏まえ、町長の考えを伺う。

町長 道の駅フードコートの空き店舗は、昨年9月末の撤退以降、空き状態となっている。既存店舗の利用状況を踏まえ、2区画を一つにする案も検討したが、現在は棚上げとなっている。

今後は、今年度末の契約期限を一つの区切りとして、空き店舗の活用や募集方法を検討する。出店者には、来客が少ない時期でも、来てもらえる工夫を期待しており、施設全体の魅力向上に向けて方針を整理していく。

古橋 公共施設は建設後の持続可能な維持管理や経営戦略が重要である。将来的に未利用施設を増やさないう、計画的な施設運営や整備管理をお願いする。

執行方針に対する質疑(要旨)

とがわ ふさこ
十河 総子
議員



YouTube 動画配信
6月17日:1:37:45~

下金山にぎわい拠点整備事業について

十河 農産物直売所や作楽の移転・新築、カフェを併設した通年営業の施設整備が示されているが、冬期の集客や交通量、出品農家の将来的な見通しなどを踏まえると、通年営業の実現性には慎重な検討が必要と考える。

また、資材や建築費の高騰が続く中、事業計画や収支の見通しをどのように考えているのか伺う。

町長 作倶楽は当初、増築を予定していたが、耐震性などの課題から新築することとした。財源は地方創生交付金や辺地債を活用でき、町の実質負担は約2割となる見込みである。

作倶楽は20年の活動で利用者・売上ともに大きく伸びており、下金山地域にとって大切なコミュニティであり、農業地域の象徴的な施設と考えている。交通量の多寡ではなく、地域で頑張る人々たちを応援し、地域づくりに生かすための事業である。

通年営業に向けた商品展開や軽食提供なども検討し、リスクはあるが進めていきたい。

十河 作倶楽が地域の活性化に大きく貢献していることを評価しているが、資材や建築費の高騰など厳しい社会情勢を踏まえ、将来的な負担とならないよう慎重な検討が必要である。冬の交通量調査や経営計画、町民の意見聴取などを行い、事業の将来性を総合的に検討するようお願いする。

移住・定住の促進について

十河 移住体験住宅について、現在の旧公営住宅2戸に加え、新たに公営住宅1戸を追加整備する予定とのことだが、体験希望者の希望時期はどの程度重複しているのか。

また、定住促進住宅の建設を検討しているとのことだが、その内容について伺う。

町長 移住体験住宅は令和6年度から2戸で受け入れを開始し、令和7年度は6世帯13人、令和8年度は8世帯25人が利用した。希望時期の重複により断るケースが毎年2、3件あるため、受け入れ拡大に向け1戸を追加したい。

また、定住促進住宅は、鶴雅リゾート従業員向けに単身者用1棟16戸を検討しており、令和10年春の開業に向け、建設費高騰や交付金確保を踏まえ進める。

十河 移住体験住宅の利用実績や移住につながった件数、移住に至らなかった理由などを広報紙や町民向けSNSで公開してはどうか。町民への周知につながるとともに、移

住に至らなかった課題の解決策を町民から募ることで、オーラル南富良野で移住促進に取り組むきっかけになると考える。

環境問題について

十河 ごみ排出量の減量化に向けた取組が示されているが、前年度と比較して実際にごみの排出量は減少しているのか伺う。

町長 ごみの減量化は、単に排出量を減らすという意味ではなく、分別を徹底し、埋立ごみを減らしてリサイクルごみを増やすことが重要である。一般ごみの排出量は、令和6年度433・28トン、令和7年度428・94トンで減少している。

今後も適切な分別を進め、焼却ごみ・埋立ごみの削減に努めたい。

十河 指定ごみ袋の値上げを契機に、さらなるごみ減量化とリサイクル推進に取り組むべきである。

分別の徹底により資源化を進めることが重要であり、町全体でごみ問題への意識向上

を図る転換期として取り組むようお願いする。

公営住宅等長寿命化計画について

十河 本年度、幾寅東団地1棟2戸の改善整備と、落合西団地1棟2戸の屋根・外壁改修を実施することだが、現在の公営住宅の空室状況や、材料費・建築費の高騰を踏まえても、今実施する必要があるのか伺う。

町長 公営住宅は333戸を管理しており、使用予定のない住宅を除く空き住宅は17戸である。空き住宅は今後、鶴雅リゾート関係者の世帯向け住宅としての活用も想定している。

今回の改修は、公営住宅長寿命化計画に基づくもので、先送りすると将来の負担増につながるため、国の補助金も活用しながら計画的に進め、居住環境の改善と維持管理費の平準化を図りたい。

十河 安全・安心な住環境の確保は重要だが、空き住宅が17戸ある中で、従来どおりの規模で改善整備を進めること

には慎重な検討が必要である。人口減少により需要の減少も見込まれるため、時代の変化に合わせた公営住宅のあり方を見直すよう要望する。

執行方針に対する質疑(要旨)
そけい 曾慶
かずすけ 一介
議員



YouTube 動画配信
6月17日:2:01:45~

高齢者福祉施設及び施策のあり方について

曾慶 高齢者福祉の将来像を検討するため、学識経験者を交えた検討会議を新たに設置するとしているが、構成メンバーや検討期間はどのように考えているのか。

また、希望する生活がかわず町外へ転出している高齢者の実態を、町としてどこまで把握しているのか伺う。

町長 検討会議は、北海道、上川総合振興局、南富良野大乗会、町社会福祉協議会に加え、北海道老人福祉施設協議会の推薦者などで構成する予定である。高齢者福祉全体の在り方を整理した上で、一味園の改築や必要な施設機能を検討する。

検討期間は、将来の利用者数など客観的な推計も行うため、今年度いっぱいを見込んでいる。

また、町外施設へ入所している高齢者は住所地特例により把握しており、現在25名いる。このうち養護老人ホームが17名で、町内に受け皿となる施設があれば、町内で暮らし続けられる可能性がある。

今後、在宅福祉の状況も踏まえ、住み慣れた町で最期まで生活できる体制づくりを検討していく。

曾慶 今回の高齢者福祉の検討は、従来の施設整備にとどまらず、町の福祉施策全体を見直す大きな転換点と受け止

めている。検討に当たっては、現場を担う若い世代の職員の意見も取り入れ、次世代につながる体制づくりが必要である。

住み慣れた町を離れざるを得ない高齢者の思いを踏まえ、行政、大乗会、社協などが連携し、福祉村構想の理念である「共に生きる」まちづくりを改めて進めるよう要望する。

執行方針に対する 質疑（要旨）

さかいとしお
酒井 年夫

議員



YouTube 動画配信
6月17日 2:17:42 ~

特別養護老人ホーム一味園の改築について

酒井 特別養護老人ホーム一味園の改築は、内容や財源が示されておらず懸念がある。

町費を投入した金山の「ふくしあ」が十分な説明なく閉鎖された経過を踏まえ、改修活用や職員の通勤手段、富良野沿線全体での福祉施設のあり方を含め、町として十分に検討すべきと考えるが、町長の考えを伺う。

町長 一味園の改築については、旧ふくしあの活用も含め、高齢者福祉全体の中で検討する必要がある。

富良野沿線での広域的な対応についても首長間で意見交換しているが、各施設の経営状況など課題は多い。

今後、福祉施設の必要性や町の負担、人口減少への影響を踏まえ、議会と議論しながら方向性を検討していく。

酒井 一味園を運営する大乗会については、議会との懇談に至っていないことや、外部の意見を取り入れる姿勢に課題があるのではないかと感じている。

特養は町立から民間へ移行した経過があるが、現在も町費が投入されており、住民の

大切な財源が使われている。

法人任せにせず、町として運営状況を確認し、必要な助言や支援を行うべきと考えるが、町長の考え方を伺う。

町長 大乗会への指導については、社会福祉法人であるため、町がどこまで法的権限を持つか確認が必要である。

一方で、町とのこれまでの関係や財政的な関わりを踏まえ、議会で出された意見や懸念を町として伝えることはできる。

今後は、指導という形に限らず、大乗会と対話し、施設運営がより良い方向に進むよう努めていく。

観光振興について

酒井 観光協会は、かつて町

長が会長を務めていたが、民間の力を生かすため民間主導へ移行した経過がある。しか

し現在、行事への役員の参加が少なく、町職員や地域おこし協力隊に頼っている状況が見られる。観光協会が本町で果たすべき役割をどのように捉え、行政として何を期待し

ているのか伺う。

町長 観光振興は、町にとって稼ぐ力につながる重要な分野であり、道の駅や鶴雅の進出も含めて取り組む必要がある。

町、観光協会、事業者がそれぞれの役割を果たし、連携して進めることが大切である。観光協会の運営体制などへの指摘については、協会に伝え、必要な改善につながるよう努める。

酒井 観光行事では、町職員や地域おこし協力隊が中心となっており、対応している一方、観光協会の役員の関わりが十分に見えない状況がある。

観光は町にとって重要な分野であり、行政だけでなく観光協会も主体的に役割を果たすべきではないか。

今後、町として観光協会に対し、必要な指導や働きかけを行う考えがあるのか伺う。

町長 観光協会については、役員を含めた体制が十分に機能しているか確認が必要である。湖水まつりなどの行事では観光協会が事務局を担っているが、出向職員や地域おこし協力隊に支えられており、

事務局体制には不安定な面もある。

今後、協会の体制や役割について状況を確認し、関係者と話し合いながら改善に努めていく。

本町の児童、生徒の学力について

酒井 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、本町の児童・生徒の学力向上に向けて、教育委員会が学校とどのように連携し、取組を進めているのか伺う。

教育長 全国学力・学習状況調査は、単年度の結果だけでなく、数年の傾向を踏まえて分析している。
学校では、調査結果から課題を把握し、学習改善や意欲向上に取り組んでいる。
教育委員会としても、ICT環境の整備、検定料助成、学習支援員の配置、小中高連携や研修の充実などにより、学力向上と教員の指導力向上を支援している。

歴史、文化、芸術について

酒井 本町の無形文化財である幾寅獅子舞について、活動の継続や保存に向けた取組が必要と考えるが、現在の状況をどのように捉え、今後どのようにに継承・育成していくのか、教育委員会の考えを伺う。

教育長 獅子舞保存会は会員が減少し、町職員や関係施設職員など限られた人材で活動している。
町では令和5年度に胴幕購入を支援しており、今後は役場職員経験者を中心とした同好会的な活動から始め、保存会と連携しながら小中高校生の体験機会を設けるなど、若い世代への普及啓発と後継者育成を支援していく。

令和8年第2回
臨時会
4月27日

議案の賛否一覧表

上程議案		結果	議							
			1番 河	2番 鷹嘴	4番 古橋	5番 渋谷	6番 曾慶	7番 大西	8番 酒井	
			(賛成：○ 反対：× 欠席：欠 除斥：除) ■：議事進行により議決に加わらない「-」							
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて	承認 (4/27)	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて	承認 (4/27)	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第3号	専決処分の承認を求めることについて	承認 (4/27)	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第4号	副町長の選任について	同意 (4/27)	○	○	○	○	○	○	○	-

令和8年第2回臨時会は、4月27日に招集され、提案された議案を原案のとおり承認・同意し閉会しました。

議：議長・副：副議長

専決処分の承認

■令和7年度一般会計補正予算

算
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ101万円を減額し、歳入歳出予算の総額を53億1843万円とするものです。(譲与税や交付金並びに寄附金等の確定に伴う専決処分)

■南富良野町税条例の一部を改正する条例

軽自動車税環境性能割の廃止、電気及び天然ガス軽自動車対象のグリーン化特例課税の2年間延長、住宅借入金等特別税額控除適用期限の5年間延長等に伴い、改正するものです。

■南富良野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

子ども・子育て支援納付金の創設に伴い、課税区分を追加・改正するものです。

令和7年度各会計補正予算	補正額	補正後
一般会計	△101万円	53億1,843万円
国民健康保険事業特別会計	—	2億7,514万円
後期高齢者医療事業特別会計	—	4,754万円
介護保険特別会計	—	2億8,433万円
町立診療所事業特別会計	—	1億402万円
簡易水道事業会計	—	3億1,025万円
公共下水道事業会計	—	3億83万円
総計	△101万円	66億4,054万円

副町長の選任

令和8年5月8日をもって任期が満了となる岩淵秀一氏の後任に河原隆則氏を選任したいとして、同意を求める議案が町長から提出され、起立採決の結果、賛成多数で原案のとおり同意することに決定しました。



総務常任委員会の調査・活動 委員会レポート

調査日：令和8年5月27日 1日間

今後の南富良野高等学校の在り方について

本委員会は、教育環境の維持に加え、地域の人材育成・地域振興・関係人口創出の面でも重要な役割を担う南富良野高等学校の在り方について調査を進めている。今回は同校教職員と懇談し、生徒募集、魅力度向上、地元就職環境の整備等について意見交換を行った。

○生徒募集について
同校は毎年20名以上の入学生確保を目標としている。令和3年度に入学生が3名となり存続が懸念されたが、近年は3年連続で20名以上を確保し、現在の在籍数は58名である。

地元中学校からの入学は重要だが、町内卒業生のみで20名確保は困難なため、富良野圏域や旭川・札幌など道内各地からの募集を継続している。

今後、道内募集のみで確保が困難な場合は道外募集も検討課題となるが、その際は学生寮の設置など道教委の規定に基づく条件整備が必要となる。

委員からは、高校授業料無償化により公立高校の優位性が薄れる懸念が示され、学校側は通学費等を含めた総額で比較する必要性を保護者に伝えたいとした。

○学校の魅力度向上について

同校の特色はアウトドア教育にあり、道内でも「アウトドアの学校」として認知が進んでいる。これらは体験にとどまらず、協力する力や生きる力を育む教育活動と位置づけられている。

委員からは資格取得や進路につながる視点も必要との意見があり、学校側は町の助成制度により資格取得につなげることが可能とした。

また、町外からの入学生増加を踏まえ、地域探究や町民・企業との連携により、生徒が町の歴史や産業を理解する機会の確保にも取り組んでいる。

委員からは、担い手不足の地域行事や伝統芸能に高校生が関わることで地域との結びつきが深まるとの意見があり、学校側は生徒が自主的に地域活動へ参加できる仕組みづくりが重要とした。

○地元就職環境の整備について

生徒が町内企業や地域産業と接する機会はこれまで十分でなく、地元就職に直接結びつけることは容易ではない。

昨年度の企業説明会も、3年生では進路が固まっており実施時期に課題があった。今後は1年生から町内企業を知る機会を設け、2年生のインターシップにつなげる仕組みが必要である。学校が出会いの場を設けることは可能だが特定企業への就職は促せないため、町内企業側にも職場体験や継続的な関わりが求められる。

委員からは農業・林業など基幹産業を体験的に学ぶ機会の拡充を求める意見があった。学校側は、卒業後すぐに地元就職に結びつかなくても、町と関わり続けることが関係人口創出や将来の担い手確保につながるとの認識を示した。

委員会としてのまとめ

今回の懇談を通じ、同校が教育環境の維持にとどまらず、地域活性化・関係人口創出・担い手確保の面でも重要な存在であることを改めて確認した。

・生徒募集

町内生徒を第一に考えつつ道内各地からの募集を継続し、状況により道外募集も検討する。

・魅力度向上

アウトドア教育を柱に、地域探究・町民交流・地域産業との連携をさらに深める。

・地元就職

行政・議会・町内企業が連携し、生徒が早い段階から地域産業を知る機会をつくる。

地域や議会は要望するだけでなく、学校行事や地域活動に積極的に関わり、相互に支え合う関係を築くことが求められる。

本委員会は、今後も同校の存続・発展に向け、学校・行政・議会・地域との連携を図りながら、必要に応じて情報共有と意見交換を行っていく。

議会の動き

令和8年5月～令和8年7月

- 5月 1日 ○ 南富良野高等学校国際交流派遣事業生徒
帰国報告会
- 9日 ○ 金山ダム桜まつり
- 14日 ○ 南富良野町商工会通常総会
- 25日 ○ 井土川北部方面総監との意見交換会
(上富良野町)
- 27日 ○ 総務常任委員会
- 29日 ○ 南富良野町森林組合通常総会
- 30日 ○ 歴代部隊長を囲む会 (上富良野町)
- 31日 ○ 上富良野駐屯地創立七十一周年記念行事
及び感謝状贈呈式 (上富良野町)
- 町自治功労者黒田寛氏 (総務課黒田課長補
佐ご尊父) 逝去に伴う通夜焼香
(富良野市)
- 6月 1日 ○ 南富良野まちづくり観光協会通常総会
- 3日 ○ 上川地方総合開発期成会定期総会及び専
門部会 (旭川市)
- 5日 ○ 議会運営委員会
- 6日 ○ 南富良野西小学校大運動会
- 9日 ○ 北海道町村議会議長会定期総会及び議長
・事務局長研修会 (札幌市)
- 11日 ○ 南富良野町議会第2回定例会
- ～ 19日 ○ 議会運営委員会
- 全員協議会
- 総務常任委員会
- 議会広報特別委員会

- 21日 ○ 北海道消防協会上川地方支部富良野分
会消防総合訓練大会 (中富良野町)
- 22日 ○ 辻澤企画課長ご岳父逝去に伴う通夜焼香
- 24日 ○ 富良野地方自衛隊協力会南富良野支部
定期総会
- 7月 2日 ○ 北海道町村議会議員研修会 (札幌市)
- 6日 ○ 富良野沿線市町村議会議長会総会
(占冠村)
- 7日 ○ 南富良野町戦没者追悼式
- 16日 ○ 町産業功労者立身政夫氏逝去に伴う通
夜焼香 (富良野市)
- 17日 ○ 全員協議会
- 25日 ○ かなやま湖湖水まつり (かなやま湖太陽と
森と湖の祭典)
- 27日 ○ 上富良野駐屯地幹部異動に伴う送別会
(上富良野町)
- 31日 ○ 南富良野町議会第3回臨時会
- 議会運営委員会
- 全員協議会
- 総務常任委員会



かなやま湖湖水まつり (かなやま湖太陽と森と湖の祭典)

議会を傍聴しませんか

次の定例会の開会予定は
9月16日(水)～18日(金)です。

町議会では、年4回(3月・6月・9月・12月)の定例会のほか、必要に応じて臨時会を開催しております。

本会議はどなたでも傍聴でき、議案審議や議員が行政に質問する「一般質問」などを直接ご覧いただけます。町政を知る大切な機会ですので、どうぞお気軽にお越しください。

また、皆様にいつでもご視聴いただけるようYouTubeでのインターネット会議中継(生中継・録画配信)も行っております。ぜひご活用ください。

※録画配信の公開までには、多少お時間をいただく場合がございます。

「議会だより」についてご意見をお寄せください。

議会広報特別委員会は、より見やすい、親しまれる「議会だより」づくりを目指しています。ご意見や感想、どんなことでも結構です。どうぞ議会事務局までお寄せください。

議会広報特別委員会委員長：古橋 国久

副委員長：十河 総子

連絡先：52-2114 (議会事務局)

<表紙の写真について>

幾寅保育所と金山保育所の園児たちによる初めての合同運動会が幾寅保育所のグラウンドで開催されました。

現在の園児は幾寅保育所43名、金山保育所は1名です。当日は青空が広がる絶好の運動会日和となり、子供達は元気いっぱい競技に挑戦しました。

親子競技では、保護者と一緒に笑顔で取り組む姿が見られ、会場は温かな声援と笑顔に包まれました。両保育所の交流も深まり、盛大で楽しい思い出に残る一日となりました。

<南富良野町の保育所はいつ頃、どこではじまった？>

昭和26年4月、金山中学校の山岡文堂先生が幼児園の必要性を叫んで創立に尽力したもので、本村の保育所としては最も歴史の古いものである。毎日曜日ごとで、日曜学校の様な形になっており、教師は5名で場所は公会堂を使用していた。

<南富良野村史 P255 第五章保育所引用抜粋>